



「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

令和6年7月25日号

発行所／(有)アミックス
〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

原料はすべて
自然由来です

新発田産フルーツ
高橋農園の
手作りジャム

600円税別
●ルレククチェ
●りんご ●桃

高橋農園
(新発田市橋山1314)
TEL.0254-29-2287
http://takahashinouen.com/

ジャムやジュース販売中!
ご贈答に人気です。

しばた健康ファーム 検校

産前産後ケアスペース、 「ゆりかご」(新発田市本町3-3-4) フードバンクしばた隣 好評

フードバンクしばた(佐藤哲也代表)では5月1日(水)から、本町3-3-4の事務所隣で、産前産後の女性と1歳未満の子どもが利用できるケア施設「ゆりかご」を始めた。予約制で毎週月曜と水曜、第1と第3金曜の午前10時〜午後3時まで、1日6組が無料で使える。初回の方を優先している。利用回数とく制限はないが、スタッフの数が7月10日(水)現在で22人、すべてが無償ボランティアで、交替で務めていることもあって、てんこまいだが楽しそうだ。一般住宅を借りて使っているため、

スペースや駐車場にも限りがある。支援の必要性はフードバンクしばたが訪問型育児保育やお母さんの相談室を実施する中で痛感したという。そこで昨年の暮れ、土田雅穂副代表とリーダーの鈴木京子さんと渋谷正志さんが首都圏のいくつかの産前産後ケア施設を見学し、それぞれのいい部分を取り入れることも、独自の仕組みを用意して新発田の現状に合ったケアをしようと決めた。土田さんは「新発田式です」と胸を張る。スタッフは主に渋谷さんが声をかけた。助産師・看護師・保育士や食事を作っ

てくれるスタッフなどが、趣旨に賛同して次々に集まっていった。鈴木さんたちは利用者が見えるたびに「いらっしゃい」と笑顔で迎える。鈴木さんは「ここに来て下さる方も、迎える私たちも、みんな楽しんでます。続かないし、やる意味もないのかな、って話。利用希望者が多いにも関わらず、利用人数を限り、原則予約制にしているのだというが、これも使え、入迎える人が気持ちよく過ごするための工夫だ。」

利用する女性たちは赤ちゃんのミルクや離乳食、オムツなどを持参するがここで食べる昼食やおやつなどは無料だ。とくに昼食は大変おいしいうえに、栄養バランスも良く考えられており、「フードバンクしばた」の調理スタッフの経験と真心が詰まっている。

同じような赤ちゃんを持つ母親たちは何よりもお互い同士の「おしゃべり」で気持ちを上げていこうと笑う。座敷には赤ちゃんがすぐに眠れるように布団を用意されている。母親のためにはうづらに休養用のベッドもある。ゆとり入浴できるようなとお風呂も使える。お母さんが休んでいる間は、スタッフが子どもの面倒をみている。赤ちゃんを抱っこしているときも、ママさんには「お話を聞かせてください」と話しかけてくれる。ママさんには利用する人もお世話する人もそれに赤ちゃんたちがいい気分です。過ごせるから、続けられていますと繰り返した。

大切なのは「チームワーク」。ほかの人が何を感じているか思いやり、できる限りいろいろな意見を生かすように努めている。



■ ゆりかご (新発田市本町3-3-4)
予約/問い合わせ 070-4498-4325



左から栗原幹、荒井英之、二階堂賢、長谷川寿一、増子浩二(敬称略)

市管工事業協同組合に 能登地震復旧の感謝状

6月26日(水)、能登半島地震で甚大な被害を受けた能登半島の突端、珠洲市の水道復旧工事に尽力した市管工事業協同組合に、市長から感謝状が贈られた。

二階堂市長は「北信越市長会でも礼を言われた。皆さんは新発田のほまれ」と謝辞を述べ、代表して市管工事業協同組合代表理事の長谷川寿一氏は「やっと復旧の手助けができてホッとしている。現地で頑張った職人たちをほめてやってほしい」と返した。

本紙前々号で伝えた通り、新発田の支援チームが復旧に当たったのは最も被害の大きい地区で、道路もまた仮設であり、大型車は入れなかった。5月3日(金)に三崎地区の給水管キャップ止め作業、4日(土)からは大谷地区で土砂崩れ現場を迂回する仮設管の埋設作業、埋設完了後は水道局の兼倉係長がチラシを配って住民に告知、その後は再び山間部の三崎地区で作業した。宿舎から現場まで時間、一軒でも多く復旧するとの決意を実行したと週間だった。

コラム

苜蓿



函館のレッドローパー

驚いた。テレビの人気番組「レレバト!!!」の出演者・千原ジュニアの句碑が建つという場所はジュニアの故郷・福知山市で、今年の10月頃とか▼その句は「故郷の苜蓿(もくしゅく)の香は濃かりけり」。聞いてまた驚いた。苜蓿という言葉は、歌人の石川啄木に世に出したと言われる、やはり歌人の宮崎郁雨たちの文芸結社「苜蓿社」もくしゅくしゃ・あるいははくしゅくしゃ)以外に耳にしたことがなかったからだ▼郁雨は新発田市荒川に生まれ、5歳で函館に移り、明治40(1907)年に職を失った啄木を函館に迎えた。苜蓿社の発行した「紅苜蓿(べにま)やし」創刊号に啄木の詩を載せた縁だ▼苜蓿は普通「まこやし」といわれ、肥料や牧草にする。シロツメクサもその仲間、紅苜蓿は苜蓿社の同人たちが花の形が似ているアカツメクサをレッドクローパーと呼んで誌名にした▼啄木は132日間函館に滞在、その後記者の仕事を得て、北海道内を転々としたが翌春、親友になった函館の郁雨に妻子と母を託して単身、上京した▼郁雨の歌碑が令和4年の初夏、荒川の松浦保育園の一角に新発田城南ロータリークラブが建てた▼郁雨の「古里や新発田につづく野の道も山も霞めりわが夢の中」と啄木が歌集「握の砂」に載せた「大川の水の面を見ることに郁雨よ君のなやみを思ふ」の歌が並んでいる。

縄文遺跡の火焰型土器に 国指定文化財の土偶型容器

6月29日(土)・30日(日)の2日間、旧金塚小(加治川コモン隣・新発田市下中山1-107)の加治川展示室で、「しほたの出土品展」を見た。主に市内の遺跡からの出土品300点を展示している。テレビ放映の機会を得て、埋蔵文化財などの専門職員の解説付きで、特別に公開されたのだ。大変な人気で、遠くは糸魚川市から、2日間で1000人弱の人が訪れたという。

普段は完全予約制になっていて、公開は祝日・年末年始を除く平日の午前9時半～午後5時、希望日の1週間前までに申し込むのが原則だが、職員が都合で日程は調整となることもある。というのも、職員は遺跡発掘なら「多忙を極めているから」と、問い合わせ先は市文化行政課TEL0254-122-193344である。

新発田市は遺跡には恵まれており、約3万年から1万年の旧石器時代から



①坂ノ沢C遺跡 旧石器
②板山産黒曜石
③上車野E遺跡 火焰型土器
④北平B遺跡 蛇形把手土器
⑤中野遺跡 土偶
⑥村原遺跡 土偶形容器
⑦野中土手付遺跡 裝飾器台

近世・近代まで、歴史資料に事欠かない加治川展示室では旧石器時代から縄文・弥生・古墳時代、さらに奈良・平安・戦国・江戸と主に「食の道具」をテーマに展示している。充実しているのは、旧石器時代から縄文・弥生・古墳時代といえる。
一見の価値あり。
輝く黒曜石 かわいらしい土偶たち

三幸山麓の坂ノ沢C遺跡(虎丸からは県内最古の旧石器時代の遺跡の一つ)で狩りに使ったと思われる突った石器が出土している。
市内の縄文遺跡からは有名な土偶も出土していた。「中野遺跡(板山)から出土した土偶(市の文化財)がかわいらしい、他にハート形土偶や遮光器土偶もある。
火焰型土器としては「上車野E遺跡(宮古木の深鉢がある。珍しいものとしては把手(とっこ)が蛇のような深鉢があり、どちらの土器も造形的に美しい。これを作った

人、使った人がどんな思いだったのかを思いを馳せると急に身近に感じられるから不思議である。
最近も人気が高い黒曜石は「縄文時代のブランド石材」と銘打って展示されていた。新発田産の黒曜石製品は全国的に分布していることから、昔も人気が高かったのではないかな。なぜ新発田産と分かるのかと聞くと、市埋蔵文化財係の鈴木暁氏は「黒曜石線成分を分析しますと、その成分の比率によって産地が特定できるはず」と答えてくれた。

また、縄文時代晩期の遺跡としては日本海東北自動車道建設に伴って発掘された「青田遺跡(金塚)がある。説明書には「かつて湖の底だった場所から集落跡が見かけた。大らかな驚き」とある。長さも、47cmもあるトチの木で作った丸木舟が出土して、かつての生活を想像させるものだ。この実物は新潟県立博物館に展示されているという。
弥生時代になると国指定重要文化財になった「村原遺跡出土品(土器)がある。土地改良に伴う水路工事が発見された再葬式などの遺跡の出土品であるという。再葬

式墓とは一度土葬した遺体を後に掘り起して再び容器に入れて土に埋めたもので、土偶形(ヒト形)容器はその骨を入れたものとか。縄目文様、赤い塗料が塗られている。展示されているのはレプリカで、これも実物は新潟県立博物館に寄託されているという。
このほか古墳時代のロクロで成形した須恵器、特徴的な形(祭祀まじない)に使っていたと思われる土器も展示されている。奈良時代以降、佐々木盛綱関係や新発田城などについては別稿に譲る。
分かりやすい解説が秀逸、飽きることなく時間が過ぎる

以前、中田の事務所を取材させてもらったときも、と数が多かったと記憶していたので「これだけですか」と聞くと、市埋蔵文化財係長の渡邊美穂子氏は「全部で1万ケースほどありますが、(一部しか)復元していません。復元する時間も、展示しておく場所もありません」と笑った。専門的な資料はバックヤードに保管しておけばいいだろう。また、近世の文書(もんじょう)などは歴史図書館に保管しています。虫が付いたりしては絶対いけませんし、温度・湿度管理がとても大切なことです。

今回見学させてもらった「一番良かったのは専門的な話を詳しく、そして分かりやすく聞けたことである。土器の色の違いの理由など、聞かなければ土の違ひなのか、焼き方の違いなのか、まったく分からない。埋蔵文化財係では毎年小学校で出張授業をやっている子どもたちに喜ばれているばかりでなく、郷土愛を育むのに一役買っているという。実際土器を持っていったり、矢じりを使ってみたり、縄で粘土に文様を移したりして、子どもたちは大喜びで飽きることがないという。

折しも「資料館建設の話が出ていると聞く。ウツワも大事だが、もっと大事なのは専門的な話を経験にもついて分かりやすく解説してほしい」とのことである。

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長巻 284-1 TEL.0254-23-6851
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	新発田ニュープラザホテル 新発田市南町 1-9-29 TEL.0254-26-3131
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	しばたパッカーズ(株) 新発田市奥山神保 427 TEL.0254-22-2334
駅前 竹内旅館 JR 新発田駅前真正面 新発田市南町 1-2-1 TEL.0254-22-2465	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101
SODデザイン 高橋智志 新発田市緑町 2-17-26 TEL.0254-24-5121	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191
(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字島越 4666-1 TEL.0254-28-5136
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761

介護老人福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223
複合型福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市南町 10-38 TEL.0254-24-1111	尾田建設 新発田市南町甲 47 TEL.0254-22-4200

割烹 志まや
新発田市御幸町1丁目1の1
☎(0254)22-2102(代)

堀部安兵衛

生誕350年 記念出版

もりいくすお漫画

『熱血 堀部安兵衛物語』
(A4・36頁)
1,000円+税

『富澤信明論文集』
『実録 堀部安兵衛』
(A5・360頁)
2,000円+税
—系図から読み解く忠臣蔵—

発売所

高木書店
〒957-0052
新発田市大手町 1-2-13
☎0254(22)3241

新発田市観光協会
〒957-0055
新発田市南町 1-2-11
☎0254(26)6789

文化会館に出店して1年、

喫茶デンデンは気軽な店

「うまい...」食レポ歴40年、同行のカメラマンがつぶやいた「喫茶デンデン」の「鉄板ナポリタン」だ。太いパスタ麺にナポリタンの具をのせ、玉子を流し入れる。熱い鉄板の上に盛り付けられているので、玉子は少しずつ固まっていっていわゆる「味変」。最後まで飽きずに完食だ。付け合わせのサラダのドレッシングは独特で、クセがないが野菜



鉄板ナポリタン+サラダ・飲み物

の旨みが伝わりやすい。ドレッシングを買って帰りたいという人もいるそうだ。もちろん、野菜は旬の新発田産にこだわっている。「鉄板ナポリタン」はサラダと飲み物（コーヒー・紅茶・ジュースなど）から選べる）がついてセットで1,100円（税込）とリーズナブルだ。もちろん単品税込900円（税別）でも頼むことができる。

オーナーの吉田純子さんは「喫茶店のメッカの中京圏・岐阜県出身で、夫の健二さんの故郷である新発田でももの頃から食べている味を新発田の人にも味わってもらいたいと、昨年7月に市民文化会館で喫茶デンデンを始めた。店は明るくゆったりとしていて、オープンな感じでも入りやすい。催し物があるときは開演待ちの人が、普段は「味自当て」の人がたくさん利用しているようで、吉田さんは「喫茶店なのに定食屋さんみたい」と笑う。

野菜のカレーやタンダーチキン、ブルドポーク（豚肉肩ロースのスパイシー煮込み）、トンテキ（豚肉の味噌焼き）、つくねハンバーグなど種類が多く、なんと肉厚揚げたての少し厚めのハンカツはお勧めだ。これが出るかは当日のお楽しみ。

デザート類も充実していて、一度は味わってほしいのが「ベルギーワッフル」。アツアツ・カリカリのワッフルを冷たいアイスクリームと一緒に食べると不思議な食感が楽しめる。ドリンク付で800円（税込）だが、フードメニューのデザートとして頼むなら単品で450円（税込）だ。



喫茶デンデン店内。ゆったり広々



吉田夫妻はもう一つの顔を持っている。デザイナーとしてオリジナルで皮革の「猫グッス」・犬グッス」を手作りして販売しているのだ。ポーチだったり、財布だったり、キーケースだったり。さらには「ちまき」などというが、喫茶デンデンにも飾ってあって、選べるから買えるから嬉しい。彼らは動物好きで、店にはなせか aibo がいるし、純子さんは新発田の動物愛護推進員でもある。

●喫茶デンデン
新発田市中央町 4-11-7
新発田市民文化会館内 1F
Tel.070-8387-0515
営/10:00~17:00
休/月曜+第1・第3火曜



ベルギーワッフル+飲み物

桃マルシェ

7/26金 31水
売出し期間

甘くてジューシー!!

TON TON
●新発田店 9:00~18:00
新発田市荒町1480
☎0254-20-2229
●松崎店 9:00~19:00
新潟市東区新松崎1-6-14
☎025-274-2229

市展

第53回 新発田市 美術展覧会
併催：第52回新発田市 ジュニア展一次展

日本画 | 洋画 | 版画 | 彫刻・造形 | 工芸 | 書道 | 写真 | 華道

令和6年 10月19日(土)~23日(水)

新発田市カルチャーセンター (本町4丁目16番83号)
午前9時から午後6時 (最終日は午後3時まで)

出品資格：居住地域制限なし、中学生を除く、15歳以上の方。
※出品資格が今年度より変更になりました。 出品申込みはこちら▲

【主催】新発田市・新発田市教育委員会・新発田市美術展覧会運営委員会 (共催) 新発田市文化団体連合会
【特別協賛】新潟日報美術振興財団 (後援) 新潟日报社・毎日新聞新潟支局・朝日新聞新潟総局・読売新聞新潟支局・産経新聞新潟支局・NHK新潟放送局・BSN新潟放送・NST新潟総合テレビ・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21・エフエムしばた

第52回 新発田市幼児・小・中学校美術展
一次展 (立体作品・書道作品) 場所: 新発田市カルチャーセンター
10月19日(土)~23日(水) 午前9時~午後6時 (最終日は午後5時まで)
二次展 (絵画作品) 場所: 新発田市民生涯学習センター
11月15日(金)~12月上旬 (予定)

問合せ/新発田市文化行政課文化芸術振興室 (新発田市民文化会館事務室内) ☎0254-26-1576

スポーツトレーナーと一緒に いつまでも元気で自由に動ける身体を作りましょう!

中央町 パル陽だまり苑 はれやか 倶楽部

8月のご案内 毎週火曜日 10:30~11:30

6日 (火)

鳴海みのりの

脳トレ のりのり体操

楽しい運動習慣作り!



13日 (火)

市井辰樹の

元気アップ たっちちゃん体操

いい汗かきましょう!



20日 (火)

鳴海みのりの

脳トレ のりのり体操

身体も頭も使って楽しく!



27日 (火)

市井辰樹の

元気アップ たっちちゃん体操

元気な身体作り!



時間: 10:30~11:30

持ち物: 動きやすい内履き、飲み物

参加費: 各教室 300円

定員: 45名

どなたでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしています。❤

パル陽だまり苑 新発田市中央町5-4-2 TEL 0254-23-1117

竹久夢二生誕140周年記念 地域交流特別企画



版画「黒猫を抱く女(つくしや版)」制作年・大正期(阿賀野市所蔵)

夢二の美人画展

阿賀野・二瓶コレクション

2024 7月16日火 - 9月23日 月・祝

開館時間/午前9時~午後5時(入館券の販売は午後4時30分までとなります)
休館日/月曜日(ただし8月12日、9月16日、23日は開館し、翌火曜日を振替休館といたします。)
入館料/一般・大学生550円(有料入館者20名様以上は団体料金440円)
高校生230円、小・中学生120円
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付で手帳をご提示ください。)

主催: 新発田市、新発田市教育委員会、落谷虹児記念館 特別協力: 阿賀野市、吉田東伍記念博物館

落谷虹児記念館 〒957-0053 新潟県新発田市中央町4-11-7
電話&FAX 0254-23-1013(直通)

源氏物語絵を 読み解く

令和6年度夏季企画展

蔵春閣の調度品として新発田市中にもたらされた大倉家旧蔵の「源氏物語絵屏風」、市島家に伝来する「源氏物語絵彩色紙形」。この二つの絵画資料を通して、時代を越え広く鑑賞の対象として親しまれてきた「源氏物語」に見る「王朝絵巻」の世界を紹介いたします。



令和6年 6/29(土) - 9/23(月・祝)

開館/9時~17時 1階展示室・入場無料
月曜休館(祝日開館・翌日休館)

ギャラリートーク 当館職員による展示解説
日時/8/3(土) 9/7(土)
AM11:00~11:30 PM13:30~14:00
(8/3の午後はイベント終了後に実施)
※事前申込不要、当日、1階展示室へお越しください。

ワークショップ「おとなのよみ聞かせ」

講師/峯島百代氏(フリーアナウンサー・古典朗読家)

日時/①源氏物語原文「桐室」

8月3日(土) 13:30~15:00

※募集期間: 7月17日~8月2日

②源氏物語原文「浮舟」

8月24日(土) 13:30~15:00

※募集期間: 8月6日~8月23日

定員 各回 20人(申し込み先着順)

場所 歴史図書館 1階 展示室1

歴史散策「城下町まち歩き~二の丸・四の町編~」
—江戸時代の町絵図を手掛かりに歴史散策をしませんか?—
日時/9月14日(土) 13:30~16:00 終了予定(受付13:00~)
参加費/200円(保険料、資料代)
定員/15名(申し込み先着順)
対象/どなたでも(初めての方を優先します)
集合場所/新発田市立歴史図書館 2階 会議室
受付/8月29日(木)~ 電話か事務室まで

新発田市立歴史図書館 新発田市中央町4-11-27 ☎0254-24-2100